

今回のジオパーク通信では、大地の変動と地域の産業や人々の暮らしを描いた絵本「洞爺湖有珠山ジオパーク・ストーリーブック」を紹介します。

有珠山周辺は噴火の度に姿を変えつづけ、火山灰の上に植物が育ち、ゼロから森を作っていきます。森の深さによって、木の種類や住みつく昆虫、動物の種類も変わるため、多様な自然環境が広がっています。

また、この地域の土は、火山灰や軽石を多く含み、水はけが良いという特徴があります。この土が野菜や果物の栽培に適している、この地域ならではの要因になっています。



▷ 地面の下にいくつもの層が重なっている様子がわかります



このような大地と私たちの生活のつながりを、もっと多くの方々に知っていただくために、ジオパーク推進協議会では大人向けの絵本を制作しました。

普段見えない地面の下や海の中と、その上で暮らす人間や動物が描かれています。

絵本は、ジオパーク関連の学習会や出前講座などで説明しながら、地域の方々向けに配布する予定です。

詳細は協議会にお問合わせください。

ジオサイト紹介

伊達市大滝区にあるジオサイト【三階滝】です。

三階滝は、階段のようになった美しい川の流れと、周辺の豊かな自然を楽しめる公園として、人気のある場所で、秋には美しい紅葉を楽しむために多くの方が訪れます。この滝は洞爺湖有珠山ジオパークの中で、もっとも古い約2700万年前の岩でできています。洞爺湖や有珠山の近くでは、噴火の度に火山灰や軽石などの噴出物が積もったため、あまり古い地層はみることができません。しかし三階滝周辺では、水的作用で岩が削られるなどして、古い地層が顔を出しています。



涼やかな水の流れ

～ 三階滝までの行き方 ～

壮瞥町市街地から国道453号を伊達市大滝区方面に向かって進みます。

20kmほどで右折し、道道86号を約4km進み、左折。

無料駐車場があるので車をとめ、150mほど歩くと、滝が見られる小橋に到着します。

開園期間 4月～10月
(11月～3月は冬季閉鎖)